

在院生便り 令和二年十一月 第二号(秋冬号)

「紅葉いつしか色深して」

暁天、靈山身延の峰に学僧の水行肝文がこだますると共に、靈氣漂う身延の一日が始まる時節となりました。

御師範保護者の各聖各位に於かれましては、御健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

本来ですと大学三、四年生が第三期信行道場を修了し日蓮宗の教師となる時節であります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和二年度信行道場が開設されず、一年先延ばしとなりました。

しかし日頃の僧道生活を励むべきことに対しては在院生一同、一点の曇りもなく、在院生活の根幹たる一に給仕、二に修行、三に学問に精進して参りました。

尚、十月一日より大奥随身の池田豪志師が新たに副寮監に就任し、大島副寮監と共に三人態勢にて在院生のサポートをしていくことになりました。

池田師も、在院生出身の総寮長経験者であり、同期生の少ない中、後輩達を牽引した苦勞人でもあります。在院生達の良き理解者として、関係者一同心強い存在であることを此処にご紹介させて頂きます。

◎副寮監池田豪志師より一言挨拶 合掌

枯れ葉舞う季節、ご師範、保護者の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび令和二年十月一日付で本院寮副寮監を拝命いたしました、池田豪志と申します。これから、石原寮監等と共に在院生の生活を支援させて頂くこととな

りました。非才の身には甚だ重く感じられる大任でございますが、ご師範、保護者の皆様方のご支援をいただいで責務を全うしたいと存じますので、何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

私自身も在院生として七年間修行させて頂いた日々が思い返されます。

身延の地に来た時は、慣れない環境、厳しい僧道生活に心が何度も折れそうになりました。その中で、同じ屋根の下、同じ釜の飯を食べる固い絆で結ばれた仲間と励まし合い、時には先輩方からの温かい言葉に支えられ、在院生活を全うさせて頂いたという思い出を、昨日のことのように思い出します。

苦しい時悲しい時、そして楽しい時等、多くの方々の支えやねぎらい、喜びを仲間と共に分かち合ったことを、今現在、一生懸命修行に励んでいる在院生の皆さんにも経験して頂きたいと願っております。

「一に給仕、二に修行、三に学問」と言われる在院生の勤めは、一般の高校、大学にはない厳しい環境ではありますが、他では得られない充実したものであります。歳月を経る中で、身延山にお参りに来る多数の檀信徒に接し、法要に出仕するという僧道教育の実践を通じて、精神的にも大きく成長し、そして多くの思い出、仲間との強い絆を形成して頂けるような環境作りを励んでいく所存でございます。

法主猊下も「身延山の在院生とは、宗祖の御魂が棲むこの身延山久遠寺にて宗祖のお言葉である行学の二道に励む日本の学生僧である」と仰せ頂いております。在院生の皆さんが退院される時に「身延山の在院生でよかった」と思ってもらえるよ

うに、これから在院生と共に行学の二道に精進して参ります。

最後に、皆様方のご無事息災を祖山よりお祈り申し上げ、副寮監就任のご挨拶とさせて頂きます。

再拝

◎御会式大法要出仕

十月十一日から十三日迄の三日間に亘り、第七三九回御会式大法要が執り行われました。三日間のうち、午前十時より読誦会、午前一時より大法要、又十二日の午後六時より御速夜法要、法要後には通夜説教が執り行われました。

万灯奉納式が中止となるなか、日蓮大聖人へのご報恩を捧げ、一同この上ない法悦を味わうことが叶いました。

在院生それぞれ、法要に於いて大導師の侍者、法要係、楽座係、稚児係、通夜説教のお手伝い等々多岐に亘る活躍を見せました。

★御会式の様子「天童献供」



★御会式・十三日「五重塔開扉」



★御会式の様子「咒讀・鏡鉞」



◎各寮新寮長紹介

十一月一日より各寮の寮長が改選となりましたので、ここに紹介させて頂きます。

○総寮長 清風寮寮長(継続)

大学三年(六年目)

石川県出身 荒清寛亮君

座右の銘「初志貫徹」

○近侍寮寮長(継続)

大学三年(六年目)

三重県出身 飯沼法覚君

座右の銘「當發大精進」

○総務寮寮長

大学二年(五年目)

長野県出身 宮澤昌揮君

座右の銘「泰然自若」

○法喜寮寮長(継続)

大学三年(六年目)

埼玉県出身 佐々木智章君

座右の銘「不言実行」

○総務寮副寮長

大学三年(三年目)

愛知県出身 則武峻大君

座右の銘「笑門来福」

○清風寮副寮長(継続)

大学二年(五年目)

千葉県出身 三橋正輝君

座右の銘「一隅を照らす」

○法喜寮副寮長(継続)

大学二年(五年目)

千葉県出身 永野元晶君

座右の銘「いのちに合掌」

○事務局長

大学三年(六年目)

滋賀県出身 大西弘竜君

座右の銘「水滴穿石」

○事務局次長

大学一年(四年目)

愛知県出身 松尾英留君

座右の銘「初心忘るべからず」

◎在院生会計

大学二年(五年目)

千葉県出身 佐々木京祐君

座右の銘「夢はでっかく根は深く」

◎令和二年度在院生旅行

十一月七日・八日及び十四日・十五日の二回に分けて在院生旅行に行つて参りました。年に一度の行事の為、日頃の寮内での集団生活とは異なり、先輩後輩の垣根を越え、一泊二日の旅となりました。

身延山高校の修学旅行が中止となるなか、感染防止対策を万全に期した上で、山梨県内での旅行をどうにか実施することが叶いました。

日頃より修行に励んでいる在院生にとつては、心身共にリフレッシュが出来、寮内では決して見られぬ表情を伺うことが出来ました。

一日目

【富士急ハイランド】

二日目

【富士山五合目】

【富士山世界遺産センター】

【忍野八海】

【北口本宮富士浅間神社】

◎在院生部経会の設立

「寶樹会」

毎朝の朝勤にて、一部経を雨垂れにて誦し修熟を重ねている在院生ではあります。その中でも更なる読経のエキスパートを輩出するべく部経会を十一月より設立する運びとなりました。

参加は任意であり、全員参加とはいかないものの、更なる修熟によって、自身の信仰を深め、御経の身延と呼ばれるレベルに達することを目標として参りたいと思っております。

現在のところ七名の者が更なる高みを

目指し参加することを予定しております。何れは一部八巻二十八品の部経を中拍子にて木鉦を叩き、大衆を読ませる在院生が一人でも多く輩出することを夢見て精進して参りたいと思えます。

★大鐘を打つ様子



◎在院生紹介

○大学四年(七年目) 法喜寮所属

富山県出身 井田法誠君

座右の銘「和を以て貴しと為す」

○大学四年(七年目) 総務寮所属

佐賀県出身 辻 雅宗君

座右の銘「百里を行く者は九十里を半ばとす」

○大学四年(四年目) 法喜寮所属

愛知県出身 野々山泰成君

座右の銘「為せば成る」

○大学四年(二年目) 法喜寮所属

静岡県出身 松澤一步君

座右の銘「神は細部に宿る」

○高校三年(三年目) 清風寮所属

静岡県出身 鶴田崇慶君

座右の銘「止暇断眠」

○高校三年(三年目) 総務寮所属

長野県出身 藤塚昂大君

座右の銘「努力を努力と思わない」

○高校三年(三年目) 清風寮所属

長野県出身 藤森孝正君

座右の銘「千里の道も一歩から」

○高校三年(三年目) 近侍寮所属

兵庫県出身 山本裕誠君

座右の銘「良い習慣は才能を超える」

合掌

令和二年度も残り約四か月となりました。一月の終わりには寒行が始まり、節分会を迎え、高校三年生一名と大学四年生の四名が身延山を巣立って参ります。

現在のところ、七名の入寮希望者が居る状況ですが、より多くの「在院生」が入寮して頂くことを御山でも望んでいるところです。御師範・保護者の皆様方には是非とも、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

再拝

令和3年度在院生募集(男女)

男子定員10名、女子定員5名程度

※身延山高校・大学授業料全額相当額を支給。
※生活費・食事代等は身延山で全て負担します。
※令和2年度より、女子寮が開設されました。
詳細は、「在院生入寮細則」を送付致します。

日蓮大聖人の御膝元で、身延山高校・大学に通いながら、仏道修行に励む入寮生を募集致します。

お問合せ 総本山身延山久遠寺在院生担当
〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 3567
TEL0556-62-1011